



# 11月 ピッコロだより

## 【11月の活動】丁寧なことばを使う／気持ちを切り替える

月	火	水	木	金	土
1 丁寧なことば がっこう (学校)	2 丁寧なことば おとな ちいこ (大人、地域の人)	3 文化の日	4 丁寧なことば がっこう (学校)	5 丁寧なことば としうえ とも (年上の友だち)	6 丁寧なことば がっこう (学校)
8 丁寧なことば としした とも (年下の友だち)	9 丁寧なことば としした とも (年下の友だち)	10 丁寧なことば がっこう (学校)	11 丁寧なことば としうえ とも (年上の友だち)	12 丁寧なことば がっこう (学校)	13 丁寧なことば としした とも (年下の友だち)
15 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう (イライラした時)	16 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう かな (悲しい時)	17 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう あそび (遊んでいる時)	18 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう (イライラした時)	19 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう かな (悲しい時)	20 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう あそび (遊んでいる時)
22 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう あそび (遊んでいる時)	23 勤労感謝の日	24 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう (イライラした時)	25 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう あそび (遊んでいる時)	26 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう (イライラした時)	27 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう かな (悲しい時)
30 うん どう 運動 しつない たの 室内で楽しく からだ うご 体を動かそう	30 気持ちを切り替える ほうほう 方法を知ろう (イライラした時)	※中学生の活動内容について 10/13(土):好きなものを紹介しよう 10/27(土):わかりやすい伝え方を考えよう			

専門職の勤務については下記になります。

公認心理師(松本) : 2日(火)、13日(土)、19日(金)、25日(木)

言語聴覚士(永山) : 5日(金)、6日(土)、11日(木)、16日(火)、17日(水)、22日(月)、26日(金)、29日(月)

理学療法士(樋口) : 4日(木)、9日(火)、15日(月)、24日(水)

(今月の主な活動) 丁寧なことばを使う／気持ちを切り替える

ねらい:さまざまな人や場面に合った丁寧なことばの使い方を知る／自分の思い通りにいかない時の気持ちを切り替える方法を知る  
☆先生や異年齢の友だち、学校や家やお店等、さまざまな人や場面に合ったことばの使い方を考え、丁寧なことばの使い方を学んだり、実践したりします。

<丁寧なことばを使おう>

☆緊張したり、嫌なことがあったりした際など、さまざまな場面に応じた気持ちの切り替え方を学び、実践します。

<気持ちを切り替える方法を知ろう>

### 【10月の振り返り】

〈こんなときどうする?〉

・友だちを遊びに誘って断られたとき、落し物を拾ったときなど、生活の中で起こりうる場面の対応方法についてみんなで考えました。また、実際にロールプレイを行い、対応方法を実践してみました。

〈これってどんな合図?〉

・ことば以外に行動やジェスチャーでも意思を伝えられることを学びました。また、ゲーム等を通して、実際にその行動やジェスチャーの意味を考え、意思を読み取る練習も行いました。

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・社会福祉法人 落穂会のホームページ(<http://www.asahigaokagakuen.jp/>)におたよりを掲載していますので、ご確認ください。実績記録表について、これまで請求書に同封していましたが、当日にご署名を頂くシステムに変更致しました。ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前)10 時 20 分まで、(午後)13 時 50 分までにお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日(午前)11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後)15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。  
また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【キャンセル待ちについて】

- ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

【欠席連絡について】

- ・平日は16時以降、土曜日(午前)当日9時30分以降、(午後)13時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。



オノマトペ: 私たちが子どもに対してよく使うことばに、ものの状態や音、声などを表すオノマトペ(擬音語・擬態語)と言われることばがあります。「ごしごし」「さらさら」「ぐじゅぐじゅぺっ」というようなことばです。ご家庭でも特に小さいお子さんに対して無意識に使うことが多いかもしれません。日本語は外国のことばに比べてオノマトペが非常に多い言語です。一説には4000～5000語、他の言語の3～5倍もあるとも言われます。

子どもが使う、あるいは子どもに対して使うオノマトペは、単純にもものの状態や音、声などを表すだけでなく、幼児語、つまり大人が使うことば(成人語)の前の段階のことばとして、大切な役割を持つものになります。まだ大人のことばそのものを理解し、使うことの難しい時期には、目で見た状態、耳で聞いた音、鳴き声など表すオノマトペは非常にわかりやすく、ものの理解からことばの理解への橋渡しをしてくれます。簡単な音の繰り返しで聞き取りやすく、発音の模倣がしやすく、話しことばや発音を育てる効果もあります。また大人と意味の共有がしやすく、聞いて楽しい、言って楽しい表現でもあり、コミュニケーションの楽しさまで経験させてくれます。最近子どもに対して、あえて使わないようにしているという親御さんの話も聞かれますが、「もったいないなあ」と思うのです。

年齢が上がるにつれて、「ギザギザ、とがってるね」「ビュンビュン速ーい」と大人が日常使うことばをそえることで、成人語を増やすこともできますし、ことばの持つ生き生きとした力強さも伝わり、情緒の発達、豊かな想像力をはぐくむことにもつながります。小学生、中学生と年齢が上がる中でも、豊富な日本語のオノマトペを活用して、表現力を広げていくこともできます。

先日、職場で読み合わせをしている冊子の中に「日本人は虫の声、波や風、雨の音など自然音を、ことばをつかさどる左脳で聞いている」という表記がありました。オノマトペがことばの発達を支えていることにもつながると言えるのではないのでしょうか。大人の私たちも、日本人の生活の中に自然に溶け込んでいるオノマトペを通して、心もコミュニケーションも豊かにしたいものです。(永山)



言語聴覚士 永山理香

